

育成センターだより

第 216 号



令和 6 年 6 月 1 日

編集・発行： 千曲市少年育成センター
事務局： 千曲市教育委員会 生涯学習課内

TEL 273-1111
内線 4114

すこやかな千曲っ子を育てる力に

千曲市少年補導委員会は、各地区から推薦されて、千曲市教育委員会より委嘱された委員が、青少年の健全育成のために活動します。昨年度から「**ちくま青バト隊**」の愛称で活動し、小中学生への認知度も高まってきました。

今年度は、新たに委嘱された 21 名と共に、総勢 29 名で活動します。地域の宝である子どもたちがすこやかに育っていけるように、見守り、あいさつ、安全点検等を行っていきます。



補導委員名簿と写真は 2・3 ページへ！



子どもたちへの「言葉」

千曲市教育委員 新海敦子

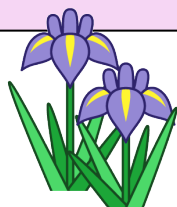
教育委員として、今年も卒業式・入学式で告辞を読むという役目を仰せつかりました。子どもたちの視線が自分に注がれるのを感じつつの時間となります。わずか三分半程度の一方的な話、しかも、主役の子どもたちに向かっての語り掛けはその三分の一。目の前には様々な状況に置かれている子どもや式に臨む気持ちに違いがある子どもがいます。彼らの発達段階や様々な状況に思いを致しながら、壇上に立つようにしています。子どもたちはとても繊細で瞬時に大人の言葉に様々なことを感じ取ります。

理論社初代編集長の小宮山量平氏は、著書の中で子どもについて「子どもたちは人間の中でも最も豊かな知的労働者であり、新鮮なことを駆使する詩人です」と語っています。だとしたら、この感性豊かな子どもたちに向けて発する言葉に威圧感や軽さや嘘があってはならないと思うのです。最近、メディアでは一部の大人たちの空疎な言葉が飛び交っていて、子どもたちもそれを見聞きしています。せめて、子どもの前に立つ大人は彼らがどこをどう切り取っても悲しい思いや落胆するような言葉をかけることは避けなければいけないと思います。

また、シカゴ大学医学部教授のダナ・サスキンド氏は

◇Tune in (注意と体を子どもに向けて) ◇Talk more (子どもにたくさん話しかける) ◇Take Turns (子どもと交互に話す) と、子どもに話しかける時の三つのTを提唱しています。

こども基本法施行二年目に入った今年。一人ひとりの子どもが安心して大人を受け入れ、安心して自身の言葉を発することができるよう子どもへの「言葉」について再考しませんか？



第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 作ろうよ 心がつながる 家族の記念日 —

令和6年度の少年補導委員（千曲青パト隊）として活動する委員です

小学校区	選 出 区	氏 名(敬称略) ○は地区代表
屋代小	屋代第1	篠原 光雄
	屋代第3	曾根原 照美
	屋代第4	○ 池田 茂晴
	屋代第5	伊東 豊和
東小	森西	古川 正
	倉科	○ 山岸 秀人
	雨宮	三村 敦
埴生小	桜堂	田村 明
	杭瀬下	○ 大碓 昭彦
	小島	山口 政春
	打沢	青木 陽子
治田小	元町	山本 洋子
	桑原中区	○ 中村 良一
	荒町	吉池 三千朗
八幡小	大池	西野入 理枝
	志川	○ 佐藤 康穂
	辻	日詰 武雄
戸倉小	柏王	中村 博
	中町	○上田 登志紀
	福井	小林 美枝子
更級小	須坂	○ 高松 勇
	羽尾第4	矢島 隆
	黒彦	高松 安子
五加小	千本柳	塚原 三喜夫
	内川	○中村 公夫
	上徳間	西沢 良政
上山田小	新山	○市川 智深
	中央	小林 康彦
	城腰	若林 直美

少年補導委員会 会長 古川 正
副会長 中村 公夫 市川 智深

具体的な活動

- ・月1～2回、午後、車（青パト）や徒歩で地区の駅前、店、公園等を巡回して見守り、声がけをします。
- ・学校の下校時、校門付近で児童生徒とあいさつを交わしたり、一緒に下校したりします。
- ・千曲市小中学校を訪問し、学校の様子について懇談したり、校内の様子を見たりします。
- ・夏休みには、学校の担当の先生と、PTA 役員と一緒に地区を巡回します。
- ・お祭りで会場やその周辺を巡回します。
- ・青少年健全育成に協力してくださる店舗を訪問し、協力に感謝を伝えます。

ちくま青パト隊のイメージカラーは青

- 千曲川の清い流れの青
- 青色パトロールカーを使っの活動
- 青少年健全育成の青

青色ベストを着用し、清々しく温かな活動をしています。

千曲市少年育成センター

所長 小岩 成夫 （教育部長）
事務局長 湯原 久昌 （生涯学習課長）
事務局次長 寺澤 孝一 （生涯学習課）
事務局相談員 宮坂久美子 （生涯学習課）
※ 「育成センターだより」作成担当
事務局員 中村 徳宏 （生涯学習課）
※ 事務局窓口

青色パトロール
カーで
巡回します



「ちくま青パト隊」よろしくお願いします！



信州あいさつ運動

4月に全県で行われる「信州あいさつ運動」、いい(11)あいさつの日ということで、4月11日に行われています。今年は東小学校の校門付近で実施しました。「大人から子どもへあいさつをすることで、子どもたちを元気づけ、地域ぐるみで子どもの育ちを応援する」ことを目的としています。



千曲警察署、長野県将

来世代応援県民会議、ちくま青パト隊、生涯学習課、あん姫、そこに東小の校長先生も加わって「おはようございます。」と、あいさつを交わしました。笑顔が広がるさわやかな朝となりました。



☆千曲市ホームページでも情報を公開しています☆

千曲市⇒組織から探す⇒生涯学習課⇒安全・安心⇒防犯・安全を開く

育成センターだよりを掲載しています

青少年育成事業(3)で、**明るい家庭づくり**の情報を月ごとにお届けしています



～わたしのゆめ～



千曲市で学び、育っている子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

「ねばり強い警察官」

上山田小学校 6年 中村 勇斗

ぼくの夢は、警察官です。3年生の社会の勉強で警察署に行った時、警察官にあこがれたことがきっかけです。警察官は、国や町の安全を守るという重要な責務があります。ぼくは将来、この仕事でねばり強く責務をこなせるような警察官になります。ぼくは昨年度、警察体験をしました。その時は、パトカーに乗せてもらったり警察手帳をもたせてもらったりして、警察官になってみたいと強く思うようになりました。今警察官になるために取り組んでいることは、基礎トレです。将来につながるように、体を強く丈夫にしています。これを続けて、将来ねばり強く責務を果たせる警察官になります。

「ぼくの将来の夢」

埴生小学校 6年 市川 和樹

僕の将来の夢は、「日本一のBリーガー」です。僕は今、ミニバスチームに入り、練習に励んでいます。また僕は、プロバスケットボールの試合も観ています。そこで僕はバスケットにハマリ、たくさんの試合を観ました。そこで、ある2人の選手を知ります。それは、富樫選手と河村選手です。2人に共通しているのは「小柄」、「日本代表のエース」ということです。僕もクラスで背が1番低いです。「小柄でも日本代表のエースになった2人のようになりたい!」と思ったことが、夢のきっかけです。僕は、夢の達成のために、技術を向上させるだけでなく、メンタル面やチームを鼓舞することにも力を入れています。いつか、オリンピックの舞台に立てるように頑張ります。

「夢に向かって」

埴生中学校 2年 瀧澤 稟晴

僕の夢は「県大会で圧倒的な差で1位を取る」ことです。僕は今水泳部の部長として日々の練習に励んでいます。ある大会で、2位を取ったときにタイムを見てみると1位との差が大きかったことにびっくりして「僕も圧倒的な差を作って1位を取りたいな。」と思ったことが夢のきっかけです。

夢の達成のために、水泳部の部長として泳ぎを磨き上げるだけではなく、顧問の先生のアドバイスにしっかり耳を向けるようにしています。自分の練習の努力で1位が取れるように頑張りたいです。

教育相談・生活相談のご案内



千曲市では、次のような相談窓口を開いています。

ちょっとした不安、疑問、お気軽にお電話ください。秘密は守られます。

児童・生徒の教育や発達について

＜市総合教育センター＞

教育相談センター

電話相談・面接相談 273-5105

平日9:00～17:00

青少年の生活について

＜千曲市役所＞

少年育成センター（生涯学習課内）

電話 273-1111（内線 4114）

E-mail: youth@city.chikuma.lg.jp